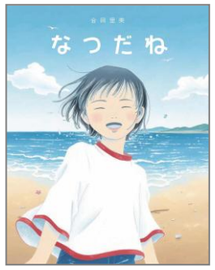
なつやすみ　　令和８年７月

よんでみたいな、こんなほん

時津町立小学校図書館・時津町立時津図書館　司書推薦図書

※税込み価格



『なつだね』

合田 里美/作・絵　（岩崎書店）　1,870 円

かぜがきもちいい。においもかわったみたい。おうちでじっとなんてしてられない、このかんじ。そうだよ、ぜったいそうだ。はじまった！ きょう、なつがはじまったんだ！

あなたも、なつをさがしにいかない？

『うみべのおはなし３にんぐみ』

ジェイムズ・マーシャル/さく　小宮 由/やく

(大日本図書)　1,540 円

ローリー、スパイダー、サムの3にんぐみは、すなはまでピクニックをしていました。ローリーが自分でつくったおはなしをはなすと、まけじとサムとスパイダーもおはなしをつくってはなしはじめます。

『かいじゅうポポリは こうやって いかりをのりきった　怒り・かんしゃく』

新井 洋行/著　岡田 俊/監修

(パイインターナショナル)　1,760 円

かいじゅうポポリは、おこりんぼ。でも、ほんとうはおこりたくないんだ。

じゃあ、おこりそうになったらどうしたらいいかな？

ポポリといっしょに、こころをおちつかせるコツをまなぼう！

『よわい いきもの』

小宮 輝之/監修　朝日新聞出版/編著

(朝日新聞出版)　1,320 円

ハリネズミやモルモット、クマノミのように、よわそうにみえるいきものは、たくさんいます。でも、じぶんでかんがえて、かしこくいきているんですよ。

よわいところをしって、いきものをもっとすきになろう！

『このほしのこども』

吉田 尚令/作　（あかね書房）　1,760 円

とおくのくににいるこも、わたしとおなじそらのしたでつながっている。このほしのこどもたちが、あんしんしてねむるためには、どうすればいいのかな？ なにができるのかな？ へいわについて、かんがえてみよう。

『科学の芽えほん　ダンゴムシはめいろのたつじん？』

かんちく たかこ/文　スギヤマ カナヨ/絵

橋本 類/原案　（講談社）　2,090 円

小学3年生の自由研究が、楽しい絵本になったよ！ みんなの足元にいるダンゴムシは、実は「めいろの達人」なんだって。本当かな？ ぼくはめいろを作り、ダンゴムシを観察したよ。おどろきの結果をいっしょに確かめよう！

『ダーウィンのむすめ』

ローレン・ソロイ/さく　まつかわ まゆみ/やく

(評論社)　2,200 円

エティは「妖精がいる」、しかしお父さんは「いる証拠がない」といいました。証拠がなくても信じることはできる。エティのように、目で見えるもの以外にも想像をふくらませてみよう。

『ジェニーとキャットクラブ　黒ネコジェニーのおはなし１』

エスター・アベリル/作・絵　松岡 享子/訳

張替 惠子/訳　（福音館書店）　1,430 円

小さな黒ネコのジェニーは、はにかみや。

「キャット・クラブ」というネコのあつまりに入りたいのに、勇気が出なくてなかなか一歩がふみ出せません。

それでもジェニーは、自分なりにがんばってみようとしますが……。

『じいちゃんの島は宝島』

漆原 智良/作　やまなか ももこ/絵

(フレーベル館)　1,430 円

悠斗のじいちゃんのふるさと「ミドリ子島」は今は無人島。じいちゃんが宝島だったというその無人島で二人はキャンプすることに。都会で暮らす悠斗がそこで見つけた“宝もの”とは？

『くらげのパポちゃん』

かこ さとし/文　中島 加名/絵　（講談社）　1,870 円

海の中から人間たちをみていたクラゲのパポちゃん。あるとき、富吉くんのお父さんが戦争に行ったまま帰って来なかったことを知ります。そして、パポちゃんは海に沈んでいるかもしれないお父さんを探しに行くのです。

『モモ（絵本版）』

ミヒャエル・エンデ/文　シモーナ・チェッカレッリ/絵

松永 美穂/訳　（光文社）　1,980 円

『モモ』って、知ってますか？ あの読めそうもない長いお話の本ね、と思った人にぜひ読んでほしい！ 読み継がれる名作をぎょうしゅくし、モモの世界にそっと触れることができるようにした味わい深い絵本です。すでにモモを知っている人にも手に取ってほしい、美しい一冊。

『読書感想文が終わらない！』

額賀 澪/作　satsuki/絵　（ポプラ社）　1,760 円

夏休み、小学校の図書室に現れた「感想文の救世主」フミちゃん。彼女からヒントをもらった5人の小学生は、ただ感想文を書いただけなのに、なぜか心が軽くなった。コツも学べて悩みもスッキリ！ 感想文が苦手なあなたに贈る、特別な1冊です。

『まぼろしの動物 ニホンオオカミ　小学生、なぞのはくせいの正体を追う』

たけたに ちほみ/文　坂口 友佳子/絵　川田 伸一郎/監修

小森 日菜子/協力　（Gakken）　1,650 円

ニホンオオカミは絶滅したのか？ 学者でも解けなかったナゾに小学生が挑む！ 小学2年生の頃からナゾを追い続けた小森日菜子さん。好きなことをきわめていく姿に、心が揺さぶられます。

『小学生記者がナガサキを記事にする　みんなに伝えたい戦争や原爆のこと』

前田 真里/著　（くもん出版）　1,430 円

全国から集まった小学生記者たちが平和について学び、長崎での取材を通して「ナガサキ・ピース・タイムズ」の新聞を作りました。5人の新聞づくりとその後の活動が紹介されています。あなたも平和について伝えたいことを記事にしてみませんか？

『ギルガメシュ王ものがたり』

ルドミラ・ゼーマン/文・絵　松野 正子/訳

(岩波書店)　2,090 円

大昔、ギルガメシュという神がいた。なんともざんこくで人間たちを昼も夜も働かせていた。人々の頼みを受けて、太陽神はエンキドゥという人間をつくった。そのエンキドゥの強さをおそれたギルガメシュは…。